

# 子どもの居場所リバティ 2024 年度報告書

新たな地域の子育て・子育て拠点をめざして

社会福祉法人 こばと会 社会貢献事業 リバティ

# はじめに

社会福祉法人こばと会は、多摩市で保育事業をはじめてから、50 周年を迎えています。現在、3 つの保育園 1 つの小規模保育所と 6 つの放課後学童クラブを運営しています。

私たちは子どもたちの育ちを見守り、子育て家庭と関わりながら、より良い子育て環境をつくることをめざし、地域貢献できる法人として活動を重ねてきました。

そして数年前より、こばと会が本格的に保育事業を立ち上げた諏訪地区において、地域住民のみなさんと一緒に任意団体「ハーモニークラブ」を立ち上げ、誰もが「ひとりぼっち」にならない社会の構築を目指し、こばと第一保育園のホール、諏訪小学校のランチルームでの「子ども食堂」の開催及び団地集会所の「誰でも食堂」を毎月定例で開催するとともに子どもや子育て環境をテーマにした映画上映や講演会の開催も実施してきました。

さらに、2019 年、こばと会では新たに地域の子育て拠点をつくるため、諏訪商店街の一角に場所を整え、「ハーモニーカフェ」として親子が気軽に集える コミュニティカフェとレンタルスペースを設置して、子どもに関わる活動をされている個人や団体に貸し出し、地域の活性化にも取り組んできました。コロナ禍に見舞われながらも地域のニーズに応じ学習支援や食事提供を継続してきました。

こうした活動を通し、私たちは子どもを取り巻く環境がますます厳しくなっている現状を目の当たりにし、何よりも子どもたちが心の安全を確保し、安心を得られる場が必要であることを痛感しています。

そこで、2022 年より「ハーモニーカフェ」を「子どもひろば リバティ」と改め、こばと会創立 50 周年記念事業とし、新しい一歩を踏み出すこととなりました。

私たちは、「子どもひろば リバティ」を通じ、行政や関係機関との連携し、より一層、地域の子育てに寄与し、貢献していきたいと思っています。

理事長

元井由隆

# リバティ とは

家族や家庭のカタチに関わらず、

すべての子どもたちが一人ぼっちにならず、

人生を自由に考え、選択できるような場をつくります。

そして、子どもとその保護者への「育ち」と「安らぎ」を提供し、

共につくり、育ちあえる場を提供します！

子どもやその保護者が、気軽に立ち寄れる「居場所」として、子どもに対する学習支援や食事提供をはじめとした生活支援、保護者に対する相談支援や育児講座などを実施し、様々な事情を有する子どもと保護者に対して、包括的な支援を行います。

子どもを中心にした各家庭の「くらしの質」の向上、地域で子どもや家庭を支援していく環境を整えていきます。

## <事業内容>

- 子どもの居場所の提供
- 子どもに対する学習支援
- 保護者に対する養育支援
- 食事提供などの生活支援
- ヤングケアラー支援

## <事業対象>

- 多摩市及び近隣の子どもと家庭 概ね 6 歳以上の児童・生徒
- ヤングケアラー支援は都内の中高生対象
- ※所得による利用制限はありません。



## 事業の運営と体制

設置者	社会福祉法人こばと会
運営者	リバティ運営委員会
運営委員長	元井由隆
運営副委員長	西川毅（事務局長）
運営委員	櫻田幸也（事務局長補佐）
運営委員	岩永ひさか
オブザーバー	田中まさみ

運営スタッフ	事務局長	西川毅
	事務局長補佐	櫻田幸也
	調理・見守り担当（常勤）	佐藤江身子
	調理・見守り担当（常勤）	坪野昂介
	他応援職員	法人内放課後学童クラブ職員（1名）
	学生ボランティア・アルバイト	（適宜）

今後、事業実施の状況に合わせ、社会福祉士、臨床心理士など専門職の参加を得て、運営評価委員会を設置予定です。



# 実施概要

**開所曜日** 月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日

※但し、開所日が祝日の場合には休所します。

**開所時間** 午前 8 時～午後 7 時（水曜日午前 9 時～午後 6 時）

※午後 7 時以降の来所についてはお断りする場合があります。

**食事提供** 上記時間帯中、原則一人 1 食

※状況に応じて、事務局長と相談の上、回数を増やすこともできます。

**利用定員** 概ね 15 名程度とします

※利用にあたっては、事務局が保護者と面談を行い利用状況などを決定します。緊急連絡先、食物アレルギー情報及び学習到達度などを記載した個人シートを作成し、管理します。個人情報の取り扱いにあたっては、法人内の規定に則り実施しています。

**利用料金** 無料

※子どもと一緒に食事を希望する大人 300 円（1 食）を提供できます

**安全管理** 保険加入します。

帰宅時間を取り決めますが、保護者の送迎が望ましいことを伝えています。

**連携機関** 多摩市子ども青少年部児童青少年課、子ども家庭支援センター、多摩市教育委員会、近隣の小中学校など。

※必要に応じ、個別のケース会議などにも出席します。

**関係機関** 多摩市社会福祉協議会 たま食ネット

※食料支援団体からの支援、個人からの食材寄付をいただいています。



# 活動報告

本年は子どもたちの第三の居場所として、新たな展開を模索する一年となりました。

## ▼子どもの居場所「リバティ」

任意団体で立ち上げたハーモニークラブにおける「子ども食堂」地域のコミュニティカフェでの実績はもちろんのこと、私たち社会福祉法人こばと会が地域において、長年重ねてきた信頼をベースに、行政をはじめとする関係機関や地域住民の多くの皆さんの支えがあってのものと考えております。

2019 年秋に諏訪商店街に「子育て拠点」を開設し、いよいよ本格始動と思った矢先新型コロナの襲来でしたが、ボランティアスタッフはもちろんのこと、「こうした場所が欲しかった」と応援をいただき、子どもたちへの支援物資などをはじめ寄付などを寄せてくださる方々の志により何とか乗り切ることができました。この様な活動を継続するためには、何よりも財政基盤を安定させることが必要です。

当初、当社会福祉法人の社会貢献活動のひとつ任意団体「ハーモニークラブ」での「場の継続」も検討しました。最終的には、日本財団の「子ども第三の居場所事業」として 3 年間の助成を獲得することとなりこばと会の一つの事業としての活動展開に衣替えする事となりました。名称も従来の「ハーモニーカフェ」から「リバティ」へと変更し、現在に至っています。

現在、「リバティ」の活動は、利用者である子どもやその保護者、また関係機関との情報交換もしながら、そのニーズに対応する形で内容の充実に努め、地域で存在すべき在りようを追求しています。「調理・見守り」を担当する複数の職員を安定的に雇用することが可能となったことによって、私たちが本来目指す「あらゆる子どもたちを受け入れることのできる場所づくり」を少し前進させることが出来たと捉えています。

また、これまで、「ハーモニーカフェ」としてコロナ禍でも支援を必要とする子ども達と向き合い、中学校への進学相談や高校入学への支援を実施し、具体的な実績を手応えとし、さらに活動の発展に向けて、事業の充実を図りたいと考えています。

ますます学校に足が向かない子どもたちの存在が指摘され、多くの子どもたちが不登校となり、問題の深刻さが社会問題となっている折に、この活動に対する期待やニーズの高まりを実感しています。



(子どもを見守りながら、調理を行うスタッフ)

「リバティ」の開所式には、市長、教育長等の関係行政機関、市議会、民生委員、保育園長を始めとする多くの地域の方々にもご参加いただきました。

夏休み以降子どもたちの受け入れ態勢を整えていくために学生ボランティアスタッフの募集やさらに子ども家庭支援センターとも密な連携を図るべく情報交換なども進めています。本年 10 月からは、法人内の学童クラブの職員が 1 名派遣され、日中の「リバティ」の活動に参加し、子どもたちのフォローにあたっています。



(市長、教育長をはじめ、子ども青少年部、教育委員会の関係者、日本財団の皆様をお迎えして開所式を実施)

また、ハーモニークラブの「子ども食堂」の活動も週 1 回持ち帰りお弁当による「食の提供」として継続してきましたが、リバティでも引き続き実施しています。「会食」ができないながらも、引き取り時に、保護者や子どもたちと対面し、様子を見守りながら、必要に応じた子育て、教育などの相談を行っています。



(リバティでは大人が子どもたちに指示を出すことなく、子どもたちの主体性を大切にしながら、見守っています。)

私たちはこうした事業の展開にあたって外部から評価の視点を取り入れることが重要だと考えており、現在、事業運営への評価、助言をしていただく運営評価委員会の設置を検討中です。子どもたちの居場所として、子どもたち一人一人の育ちを丁寧に見守り、信頼できる活動を進めていきたいと思えます。



### ▼「リバティ・プレ」

こばと会では、保育園の存在意義とし、地域の「子育てプラットフォーム」としての機能があると考え、定期的に保育園を開放し、地域の親子を受け入れてきました。新たに「リバティ」が地域拠点として開設されたことに伴い、保育園で実施してきた活動の軸足を移転し、「リバティ・プレ」と位置づけ、現在も継続実施しています。保育士資格のあるスタッフを二名配置し気軽に子育て相談できる環境と同世代の子ども同士が知り合う場として設置しました。「リバティ」の利用対象年齢以前の親子でも利用できるようにしています。

実際に就学前からの保護者や子どもとの関係性を構築し、長く見守ることのできる体制を整えることによって、安心できる子育て環境の創出に繋がっていくと捉えています。この「リバティ・プレ」が、地域の親子を「リバティ」へともつながり何か困った時には頼りにできる場として発展させていきたいと思っています。



(2階フロアは乳幼児も安心して遊べる場として開放。地域の子育て団体に貸出、イベントなどで活用されている様子)

### ▼レンタルスペース「リバティ」

週に一度、地域の子育て支援NPO団体に場所を貸出し、「子育て広場」の実施をしています。「リバティ」の事業に支障のない時間帯は、多摩市や地域の子育て環境をより良くする視点から、子育てに関連した活動を支援することを目的に、場所を活用してもらうことが可能です(要相談・有料)。

他団体などに貸し出すことは、多くの方々に「リバティ」を知ってもらうきっかけ作りにもなっています。



### ▼ハーモニークラブとの連携

前述した通り、現在もハーモニークラブの「子ども食堂」活動を引き継いでいますが、それと合わせ、地域自治会の方々との協力関係も継続し、月1回定期的に「誰でも食堂ハーモニーカフェ」も実施しています。

現在、諏訪4丁目及び5丁目自治会の集会所を活用し、感染症対策を実施しながら、希望者には「会食」の場も提供しています。リバティのスタッフがボランティアとして参加し、高齢者や子どもたちが「おたがいさま」で見守りあえる関係づくりを進めています。



# 活動実績

※2025 年 2 月現在

## ▼子どもの居場所「リバティ」

登録児童数           小学生   47名   ／   中学生   26名

延利用数       1770回

食事提供数   テイクアウト弁当含む       4924食

## ▼面談・相談

利用相談面接者数   28名（うち関係機関からの紹介8名）

利用者面談・関係機関ケース会議など出席回数   48回

## ▼レンタルスペース「リバティ」

1 階   ランチハーモニー（ハーモニークラブ主宰）   毎月第4水曜日実施

        諏訪商店街サマーセール/ハロウィンイベント

        貸し出し実績16回

2 階   そらいろたね（子育てひろば）   毎週火曜日実施

        子ども・保護者延べ利用数   343名

1 階   あさひ塾(無料塾)   毎週水曜日

        子ども・大人延べ   78人

## メディア掲載 取材など

▼タウンニュース 多摩版 2021 年（令和 3 年）12 月 2 日（水）号



**子どもの居場所  
「リバティ」**

【コンセプト】  
子どもたちが自由にくつろげ、学び、遊べる場。中学生以下であれば「誰でも」利用可能。

【内 容】  
子どもたちの学習や遊び場。学童スタッフが様々な相談に応じてくれる。希望者には食事を無償で提供。

【場 所】 多摩市諏訪5-6-2 諏訪名店街内

【利用時間】 平日10:00～16:00

イベントのイメージ  
=写真(上下)=

こばと会 諏訪に「子どもの居場所」

来春 学習支援や食事を提供

「遊びのお手伝い」もしてくれるという。

また、この場所では子ども・乳幼児とその親などを対象とした各種セミナーも随時、開催予定。子ども向けワークショップや小中学生対象のプログラミング教室、ベビーマッサージ指導の場などになっていく予定と担当者には話している。

商店街内の店舗を利用



も学びの場が必要と考えたと同会担当者。研修を通して、保育にあたる人が大人にとっても成長につながることを知ってもらいたいとしている。

**名称は「リバティ」**

このスポットの名称は「リバティ」。地域の交流場にもなるよう軽食や飲み物を提供するカフェの要素ももたせていく計画といい、担当者は「この場所から子どもたちの支援が広がるようにしていきたい」と話している。

問い合わせはリバティ 042・400・0855へ。

**大人の研修場にも**

一方で同会はこの場所を保護者や保育関係者が集まる研修の場にもしていく計画も立てている。乳幼児の心理学や発達心理学、脳科学などを通じて保育について学び合い、「エビデンスをもつて子どもたちと接することができるよう保育者



子どもが立ち寄れる「居場所」が先月、諏訪名店街内にオープンした。地域の交流スポットとして人気を集めていたすわハーモニーカフェがより「子ども向け」となった形で、「リバ

ティ」の名称で再スタートした格好だ。

「今はどう運営しているか、より子どもたちの居場所になっていくのか試行錯誤しながらという状況です。春以降に本格始動できればと考えてい

ます」とは、リバティを運営する社会福祉法人ことばと会の西川毅さん。食事を提供し、遊び場としてや勉強するところなどとして子どもたちに立ち寄ってもらえればと考えているのだという。

「勉強を教える塾のような場ではなく、あくまでも家庭、学校とは異なる第3の居場所となるところでです」。そう西川さんは微笑む。



▲「居場所」を紹介する西川さん



櫻田さん

### カフェ機能も

そんな「居場所」を見守るのが、ハーモニーカフェの店長だった櫻田幸也さんと調理担当の佐藤江身子さんだ。リバティとなりカフェ機能は縮小したもの引き継ぎ、一般客も利用可能という。「ランチの価格700円のうち、200円は子どもたちの居場所運営のための支援金とさせて頂くようになりました」と櫻田さん。リバティは予約や事前の申込不要（会員登録は必要）。中学生以下の希望する子には食事を提供し、利用は水・土日を除く午前9時から午後3時まで。問い合わせはリバティ ☎042・400・0805。



シーズレター

Vol.61  
2021.7.1

シーズネットワークは「子育て」をたのしみ、「自分らしく働く」ことを応援します。

発行:  
NPO法人  
シーズネットワーク

Special Interview

Profile

東京都日野市出身。服飾系専門学校卒業後、高級カフェでアルバイト。その後建築会社に就職。結婚後、子育て中に「café GREEN」をオープン。オーナーシェフとなる(2017年閉店)。現在、「すわハーモニーカフェ」のシェフとして働く。夫、一男一女とともに多摩市在住。

●営業時間●  
「すわハーモニーカフェ」  
月・火・木・金 11:00～15:00  
「創作料理酒場ハーモニー」  
毎月第2・4金17:00～21:00

QRコード  
Facebook



「ライフスタイルに  
合わせて自分らしく働き  
たいこと、やりたいことを  
実現している素敵な人  
をご紹介します！」

すわハーモニーカフェシェフ  
佐藤 江身子さん

# 働き方 私流

多摩市の諏訪名店街にある「すわハーモニーカフェ」のFacebookには、ランチメニューの写りがアップされていて食欲をそそる。その創作ランチやスイーツづくりを一手に担っているのが佐藤江身子さん。取材時は緊急事態宣言期間のために休業中だったが、いつもはカフェのオープンキッチンで手際よく調理をしている姿が見られる。

子どもの頃から、共働きの両親が留守の間に自分で料理をしていた佐藤さん。家に友達を呼び、料理をふるまって喜んでもらえるのがうれしかった。実家は家族や親戚が大勢集まるのが当たり前の家庭で、おいしいものを大量に

一緒に食べて、話して、  
笑える幸せを

作っていたとのこと。アルバイトをしていた飲食店でも、提供しているメニューにどんな食材や調味料が入っているかを考えるのが好きだった。そんなに料理好きなら、学校も調理系に進学? と思いきや、調理師専門学校に行くことを勧める父親に反発して、なんと服飾系専門学校へ。卒業後は、高級カフェに勤めたり、建設会社に事務職として就職し、まかないの昼食づくりも担当したり。料理、調理と縁が切れることはなかった。野菜たっぷりのまかないの昼食を「おいしい」と喜ばれたり、「ダイエットできた」と感謝されたりすることがうれしかったという。

24歳で結婚し、専業主婦に。2人の子どもの子育て中には、子どものことで悩みもあったが、育児書を読んでも解消はできず、ママ友達にも話づらい。そんなときに参考になる話を先輩ママから聞いたかった。そう、先輩ママと話ができて、子連れで気兼ねなく行けて、しかも、ちょっとおしゃれで、行くと気分があがる場所があればいいのに…。自分は小さな頃から料理が好きで、人を呼ぶのが好き。家の近くで場所を借りて、そんな居場所を作れたらいいな…。

そんな想いから、自身の子どもがまだ小中学生のときに、多摩市内で「café GREEN」を開業した。狙いどおり、子育て中の親子や年配の女性がリピーターのお客様となり、佐藤さんはオーナーシェフとして頑張った。しかし、カフェ営業に家事や子育ての大変さも重なり、経営者として仕事に没頭しきれない状況。ストレスは高まるばかりだった。そこへ実家の母親の体調の心配も重なり、ついにカフェを閉店することになった。

その後、2019年11月にオープンした「すわハーモニーカフェ」を運営する「すわハーモニークラブ」から声をかけられ、シェフとして働くことに。子どもたちは大きくなって子離れもできつつあった。カフェの仕事は週4日。今が一番身軽で楽しい、という。今後はこのカフェで「笑顔のキッチン」という料理教室をやりたい、とのこと。元々は自宅でやっていた料理教室の再開を考えている。「人と話すことを大事にしたい」ので、集まって簡単な料理を教えながら、わいわいと一緒に作って、食べて、たわいもない話をして、笑って…。教室で作った料理は参加者に家族分を持ち帰ってもらい、その日の夕食づくりの時間を自分の時間に充ててもらいたい。それで少しでもハッピーな気持ちになる時間を過ごしてもらえたら…」

料理教室の実施は、コロナ禍が落ち着いてからになるかもしれない。でも、今はカフェランチでたくさんの人が元気になる居場所が地域に提供されていることがありがたいことだなと思う。

2021 年 7 月 1 日号

▼ オープン時に作成したチラシ

みんなの  
リバティ

子どものひろば  
liberty

## そうだ、リバティに行こう！ 子どものひろば、 諏訪に誕生！



リバティは、諏訪5丁目きらぼし銀行前に 2022 年 1 月から開設。社会福祉法人こぼと会が運営する、安心で安全な子どものひろばです。水曜を除く平日の 8 時から子ども達を無料で受け入れます。大人が学習支援や遊びのお手伝いもします。中学生以下へは食事も無料で提供。お気軽に来てください。予約や事前申込は不要ですが、保険加入のため会員登録をしていただきます。詳しくはお問い合わせください。



206-0024  
多摩市諏訪 5-6-2-101  
バス停きらぼし銀行前下車 1 分、諏訪5丁目きらぼし銀行向かい  
問合せ：042-400-0855  
平日（水曜）9時-18時  
liberty@tama-kobatokai.jp

liberty

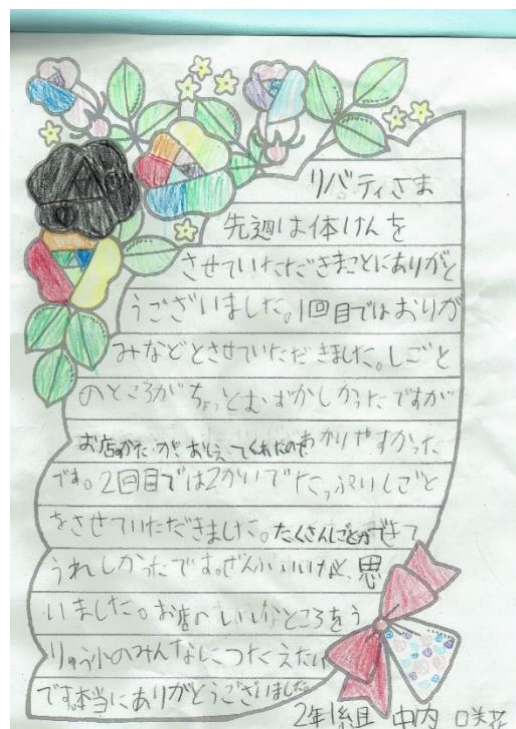
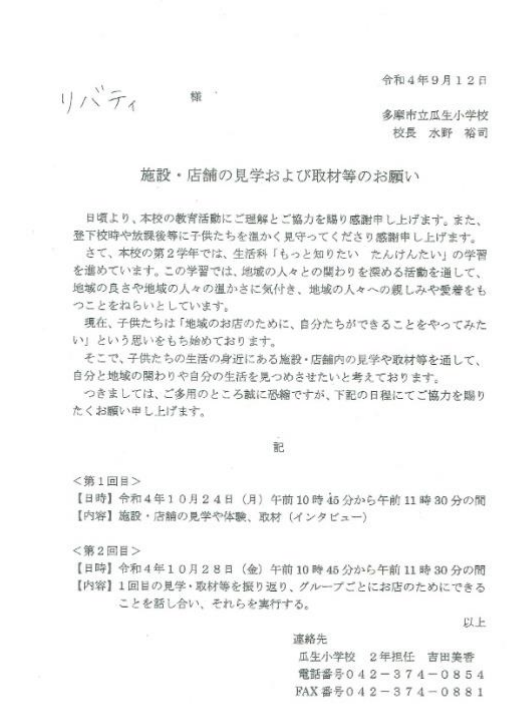
 みんなのリバティ

▼リバティのロゴ



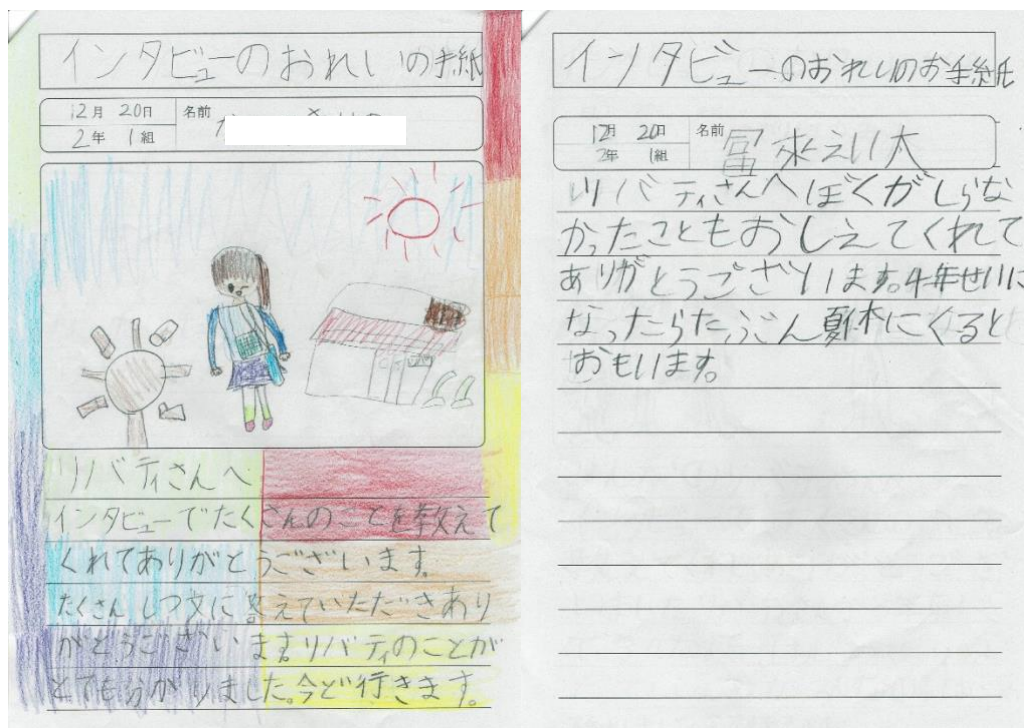
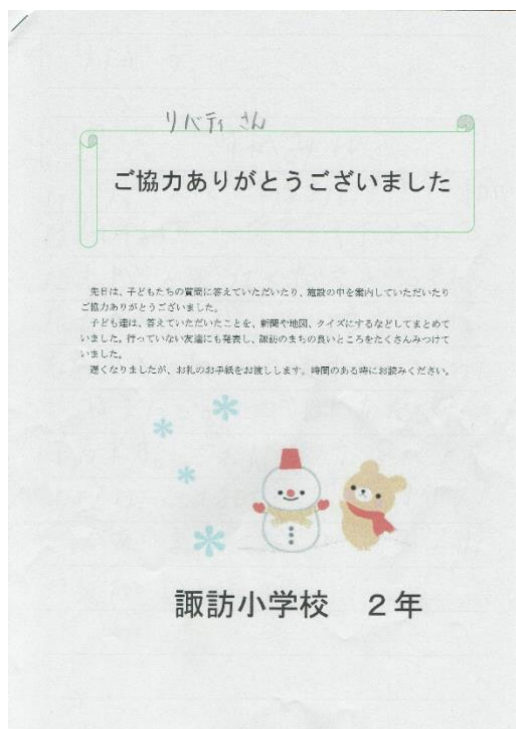
## ▼地域の小中学校の体験学習の受け入れ

### 多摩市立瓜生小学校 2 年生





多摩市立諏訪小学校 2 年生



参考資料\_ 利用者数他実績

●子どもひろば リバティ

	登録児童数		延利用回数	延食事提供数				相談・面談数		
	小学生	中学生		リハビリ利用者食数		テイクアウト弁当食数		初回利用相談	利用者・関係機関面談	
				子ども	大人	子ども	大人			
4月	4	1	121	86	43	89	138	5	0	1
5月	1	1	154	112	33	99	126	3	0	3
6月	0	0	188	129	40	93	124	1	0	1
7月	3	0	156	143	24	95	111	2	0	0
8月	2	0	132	134	33	83	126	0	0	3
9月	1	0	144	120	25	127	181	2	0	1
10月	2	0	159	128	22	189	222	1	1	0
11月	2	0	126	87	12	153	162	2	1	1
12月	1	3	148	143	21	134	151	6	3	1
1月	2	0	122	93	16	133	150	1	0	1
2月	1	0	125	100	21	106	140	1	1	0
3月	3	1	195	155	17	113	142	4	2	0
合計	22	6	1770	1430	307	1414	1773	28	8	12

参考 日常の風景



△やりたいことを、やりたいように



△ボランティアの学生さんは大人気！



△20 歳のお祝い会



△お弁当作りをお手伝い。



△自分のペースを大切にしてお過ごし



△お野菜の収穫！